

すわみつえ通信

No.309 2024年4月1日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

共産党の躍進で政治を変えよう！党と後援会「春のつどい」盛況に開催



すわみつえ市議

日本共産党鴻巣市委員会と後援会は3月24日(日)にクレアこうのすで「春のつどい」を開催しました。塩川鉄也衆院議員が講演にかけつけ、自民党派閥の裏金問題について、自らの国会質問を紹介しながら詳しく報告。「しんぶん赤旗」日曜版のスクープについて、他党の議員からも反響があったと語りました。

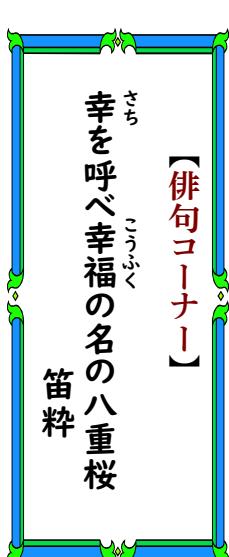
2年間で軍事費を2・5兆円も増やしながら、その一部を使えば全国の学校給食無償化は実施できると揭示してあるパネルを見て話しました。

衆院埼玉6区予定候補の秋山もえさんは、共産党の躍進で塩川鉄也衆院議員と元衆院議員の梅村さえ子さんを国会に送り、自民党政治を変えましょうと呼びかけました。

竹田えつ子・すわみつえの両市議は、閉会したばかりの鴻巣市議会の報告をしました。

会場内で能登半島地震救援募金の呼びかけを行い、41,236円が寄せられました。全額を現地にお届けいたします。

赤見台地域の防災学習イベントに参加し、「クロスロード」ゲームを体験



3月16日(土)、市民センターにおいて、社会福祉協議会・赤見台支部主催の支部福祉委員会が開催されました。来賓として参加し、防災アドバイザーによる「最近の避難所運営について」の講演をお聞きし、さらに参加者の皆さんと防災ゲーム「クロスロード」も体験しました。

クロスロードゲームは「人数確保できていない食料をすぐに配るか」「家族同然の

飼い犬を避難所に連れていくか」など、避難所運営時で二者択一を迫られたときに、防災を「他人事」ではなく「我が事」として相互に意見を交わすゲームです。

地域で顔見知りになり、いざという時に意見・価値観が違うことを尊重し合いながら災害を乗り越えられるように、このような学習と体験は必要だと思いました。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

3月定例会一般質問

3月18日(月)10時から行った一般質問と答弁の概要をご報告いたします。教育行政では、子どもたちが楽しく学べる学校、教職員がゆとりを持って元気に働く学校にするための質問です。小規模校が教育上問題があると説明をし、適正配置の名の下に統廃合を進めてきた教育委員会ですが、その根拠となる調査をしていないことが明らかになりました。地域の分断でコミュニティが壊される統廃合は見直すべきです。

【問】小中学校統廃合で地域のコミュニティが弱まり地域で学ぶことが少なくなるのでは

【答】地域の方の学校への思いは十分認識しているが、児童数の減少で学校の小規模化が進み、学習活動が困難となり、教育環境の格差が拡大するため、適正配置(統廃合)に取り組むことは教育委員会の責務である。地域のコミュニティづくりは学校跡地利活用で民間活力も視野に入れ検討する。

【問】小規模校における「学習活動の困難さ」「教育環境の格差拡大」に対して、各学校にいつどのような調査を行ったのか

【答】市教育委員会では、改まっての調査や分析を行ったわけではありません。運動会や音楽活動等での集団活動、グループ活動や習熟度別活動などの課題を確認している。こういった課題で多様な学習活動が困難になると考えられることから、適正配置に取り組む。

【問】教職員が抱える業務実態は

【答】勤務時間を除いた1ヶ月の在校時間が45時間を超える教職員の割合は、全体で54.9%と令和2年度の68.3%に比べると大幅に減少している。(それでも、半数以上の教職員が45時間を超えている)

【問】鴻巣市避難所運営マニュアルについて

【答】指定避難所・補助避難所33か所に、それぞれ4人の避難所担当職員を選任し、災害時に避難所を開設できるようにしている。避難所運営マニュアルは市のHPに掲載し出前講座も実施している。

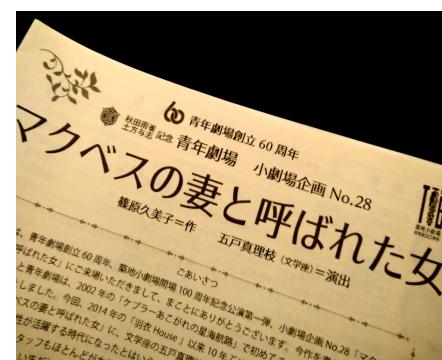
【問】令和元年の台風19号で浸水被害があった大間地区の対策は

【答】大間地区の調整池整備は大宮国道事務所と協議・調整を行つて、令和6年度の事業化に向け準備を進めている。

3月市議会閉会後は運転免許更新・人間ドック受診・献血・楽しみの青年劇場(東京)「マクベスの妻と呼ばれた女」を観劇しました！

【問】元荒川下流の溢水を防ぐための川面調節池(面積約37ha 容量約40万m³)計画は適正か

【答】必要性や規模、構造、周辺環境の変化など十分な検討と丁寧な説明が必要。埼玉県の計画であり総合的に検討し、37haを計画していると県から聞いている。



映画「わたしのかあさん 天使の詩」障害者の子の葛藤と成長



知的障害者の両親を持つ少女の葛藤と成長を描く映画「わたしのかあさん 天使の詩」の上映会が、29日から埼玉県内各地で開かれる。自身も障害児の長女を育てた92歳の山田火砂子監督の作品で、長女の通った養護学校の教諭・菊地澄子さんの書いた児童文学を映画化した。主人公は小学3年生で成績優秀な高子。変わった振る舞いをする母親・清子を恥じ、友達に見られて奇異な目を向かされることを恐れていた。ある日、両親が知的障害者であることを知り激しく動搖するが、周囲に支えられて清子の愛情深さに気付き、差別意識を解消しながら成長していく。

4月19日鴻巣市文化センター「クレアこうのす」小ホールで上映されます。(東京新聞 3月29日付)